

平成 30 年 5 月 11 日

11<sup>th</sup> May, 2018

大学院学生各位

To All Graduate Students

平成 30 年度 基盤医学特論 開講通知 Information on Special Lecture Tokuron & Tokupro AY2018

## 特徴あるプログラム オミクス解析学プログラム

### Omics Analysis Program

題目：ゲノム医療のためのがんゲノム解析

Title : Cancer Genome Analysis for Genomic Medicine

講師：白石 友一 先生

(国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野・ユニット長)

Teaching Staff : Dr. Yuichi SHIRAIISHI

(Unit Leader, Division of Cellular Signaling, National Cancer Center Research Institute)



日時：2018 年 6 月 13 日 (水) 17:00~18:30

Time and Date : 13<sup>th</sup> Jun, 2018 17:00-18:30

場所：基礎研究棟 第 1 講義室

Room : Basic Medical Research Building Lecture room No.1

概説：

超並列シーケンサーの技術革新により、がん細胞中に生じている体細胞変異を網羅的に検出することが可能になり、多数の新規がん遺伝子が発見に繋がった。さらに、研究の枠を超え、患者さんのゲノムのシーケンスを行い、生じている変異を診断・治療に生かす「がんゲノム医療」が社会実装されつつあり、がんゲノムシーケンス解析の重要性はますます高まっている。

本講演においては、まず、ゲノムシーケンスデータから、一塩基置換、構造変異など、種々の変異を検出する原理、実践的なテクニックについて紹介する。また、約 1 万検体のがん種横断的大規模がんゲノム・トランスクリプトーム統合解析について種々の結果を紹介し、大規模統合ゲノム解析の有用性について論じる。最後に、さらなる効率的な大規模解析のために、クラウドなど新しい技術の利用など、我々の試みを交えつつ紹介する

使用言語：日本語 Language : Japanese

関係講座・部門等の連絡担当者:神経遺伝情報学・大野欽司、システム生物学・島村 徹平 (内線 1980)

Contact : Division of Neurogenetics・Kinji Ohno, Division of Systems Biology・Teppey Shimamura (ext.1980)

事前連絡は不要です。

No registration required.

医学部学務課大学院係

Student Affairs Division, School of Medicine